

平成30年度新春経済セミナー開催！

～日本銀行理事・大阪支店長 山田泰弘氏が「最近の経済・金融情勢」について講演～

大阪府中央会では、2月4日（月）シティプラザ大阪において276名の皆様にご参加いただき、平成30年度新春経済セミナーを開催いたしました。

講演のテーマは「最近の経済・金融情勢について」、講師は日本銀行理事・大阪支店長の山田泰弘氏。

山田氏の講演は、①日本銀行大阪支店の概要、②2018年の振り返り、③世界経済と日本経済、④関西経済の現状と展望、⑤金融政策運営の5項目から構成され、それぞれについて分かり易い説明がありました。

まず、①では日本銀行大阪支店の歴史と支店における仕事・役割について、また②では多くの自然災害に見舞われたにもかかわらず、驚くべき回復力により関西経済は緩やかな拡大を続けていること等について話されました。続いて、③では、世界経済は米中間の貿易摩擦、最近の保護主義的な動きについて慎重に対応する必要があること、しかしながら、日本経済はそれに耐え得る頑健性を有しており、企業の収益力も改善していること、さらに④では、関西経済の景気拡大の牽引役は「インバウンド消費」と「輸出・生産」であること、そして中長期的に見ても、インバウンドの飛躍的な伸長とグローバルな「industry4.0」の潮流が人口減少の逆風を乗り越えていける成長の芽となること等につき、資料に基づく詳しい説明が為されました。

ご自身が大阪生まれである山田氏のお話は、2025年の大阪万博を含め、今後の関西経済の展望が非常に明るいことが随所に強調されたものであり、講演終了後に実施したアンケートにも、「関西経済の展望が聞けて明るい材料が多く、期待が持てました」、「身近なテーマで聞き易く、より興味が湧き役立ちました。元気が出てきました」、「直近の経済動向、関西経済を下支えしている要因が理解できました」などの意見・感想が寄せられ、平成最後となる新春経済セミナーは大盛況の内に終了することができました。

大阪府中央会では、今後もこうしたセミナーを開催し、会員の皆様に様々な情報提供をさせていただきたいと考えております。お時間の都合がございましたら、是非次回は、本会のセミナーにご参加いただきますよう、よろしく願い申し上げます。



山田 泰弘 氏

